

エコアクション21

- 環境活動レポート -



レポートの対象期間：平成26年4月～平成27年3月
発行日：平成27年 5月 1日
田口ライフサービス株式会社

田口ライフサービス株式会社

環境方針

[基本理念]

田口ライフサービス株式会社環境事業部は一般廃棄物ならびに産業廃棄物の収集運搬業務を通して、常に環境の保全を意識し、地域の資源循環型社会の構築に貢献します。

[行動指針]

環境関連の法律を遵守します

地球環境保護のため、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、水利用量の削減に努めます

燃料（軽油・オートガス・ガソリン）使用料の削減

電気使用量の削減

水利用量の削減

資源化量の増加

事務用品や原材料のグリーン購入に努めます

全社員に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高めます

環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います

田口ライフサービス株式会社

代表取締役 田口建一

制定：平成 22 年 10 月 1 日

2、会社概要

会社名	田口ライフサービス株式会社		
法人設立年月日	昭和48年11月22日	創業	
	平成26年11月1日	社名変更	
代表取締役社長	田口 建一		
所在地	静岡県裾野市富沢94		
TEL	055-992-3595		
FAX	055-992-3582		
メールアドレス	takaaki-t@mti.biglobe.ne.jp		
事業年度	4月1日～翌年3月31日		
管理責任者	環境管理責任者	鎌野 光之	
	経理部門責任者	田口 昌代	

3、事業の概要

事業内容	一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業・一般貨物自動車運送事業				
許可区分	一般廃棄物収集運搬業 裾野市	裾野市 第4号 取得年月日 平成26年4月1日 有効年月日 平成28年3月31日			
	一般廃棄物収集運搬業 御殿場市	御殿場市 第118号 許可年月日 平成26年4月1日 有効年月日 平成28年3月31日			
	産業廃棄物収集運搬業 (積替え保管行為を除く) 静岡県	第2201005579号 許可年月日 昭和22年9月7日 有効年月日 平成27年9月6日 【産業廃棄物の種類】 廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず・木くず がれき類・紙くず・繊維くず			
	特別管理産業廃棄物収集 運搬業 (積替え保管行為を除く) 静岡県	第2251005579号 許可年月日 平成25年7月25日 有効年月日 平成30年7月24日 【産業廃棄物の種類】 感染性産業廃棄物			
	一般貨物自動車運送事業	中運自貨振第122号			
事業の規模		2011年	2012年	2013年	2014年
	資本金	1000万円	1000万円	1000万円	1000万円
	処理量(t)	1673	1816	1931	1744
	売上高(百万円)	114	119	128	-
	従業員数	15	15	15	15
	延床面積(m ²)	180	180	180	180
敷地面積(m ²)	1300	1300	1300	1300	

4、運搬車両の概要

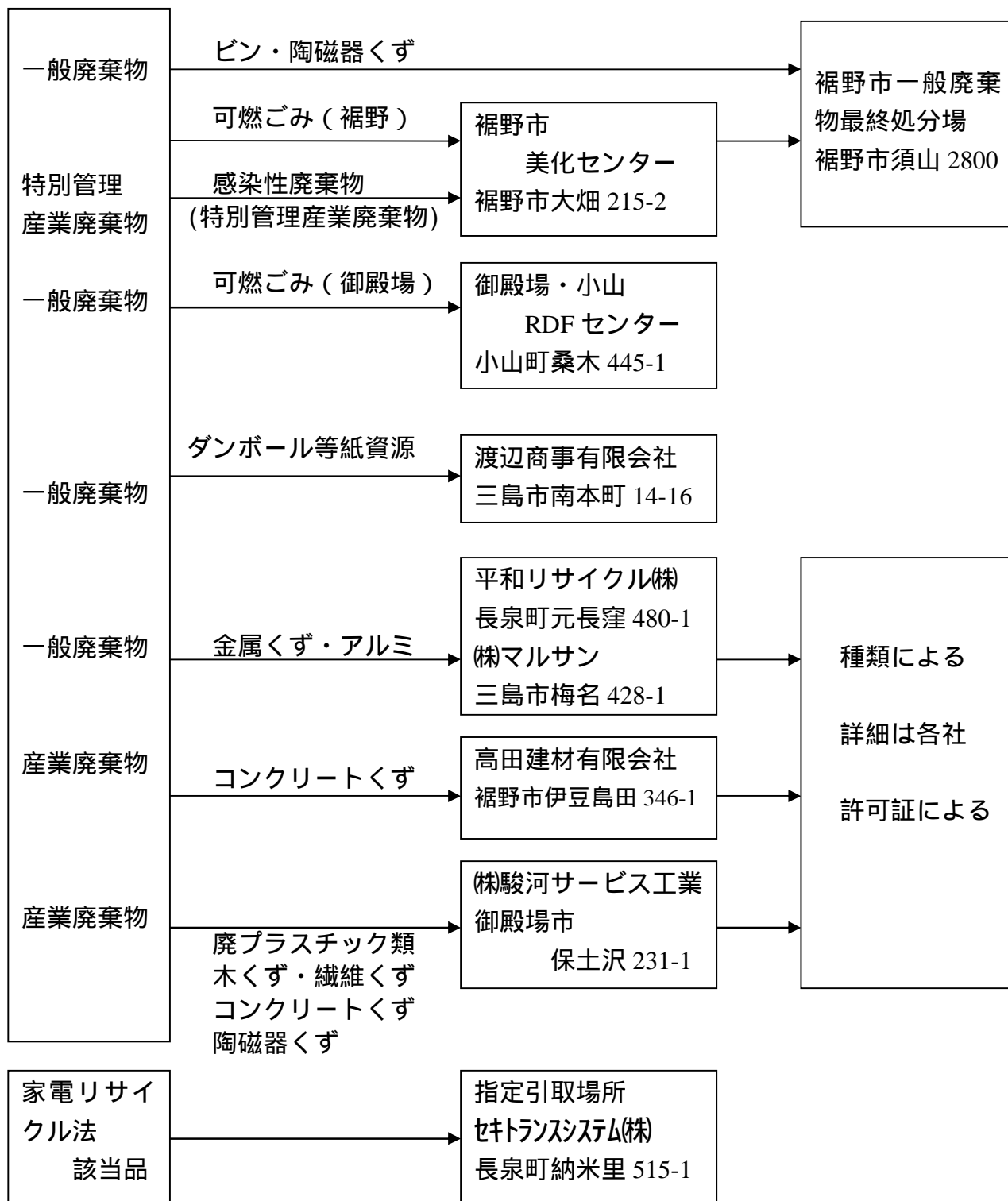
運搬車両	ナンバー		種類・積載量など	
		沼津 800 あ	1 2 6 4	塵介車
	沼津 800 あ	1 6 0 0	塵介車	2 t
	沼津 800 あ	1 0 0 7	塵介車	2 t
	沼津 800 あ	8 0 5	塵介車	2 . 6 t
	富士山 803 あ	2 8 4	塵介車	3 t
	沼津 800 あ	5 1 6	塵介車	2 t
	富士山 800 あ	5 3 1	塵芥車	2.80 t (3月導入)
	富士山 803 さ	2 4 5	塵介車	2.85 t
	沼津 100 さ	4 8 7 1	平ボディ車	2 t
	沼津 100 あ	1 5 2 8	平ボディ車	2 t
	沼津 400 せ	8 9 2	平ボディ車	2 t
	沼津 100 さ	3 6 7 0	深ダンプ車	1 . 6 t
	沼津 11 つ	2 0 4	荷台脱着車	4 t
	沼津 40 ね	1 9 1 1	軽ダンプ車	0.35 t
	富士山 481 う	4 1 8 4	軽ダンプ車	0.35 t
	合 計		1 5 台	

5、処理実績

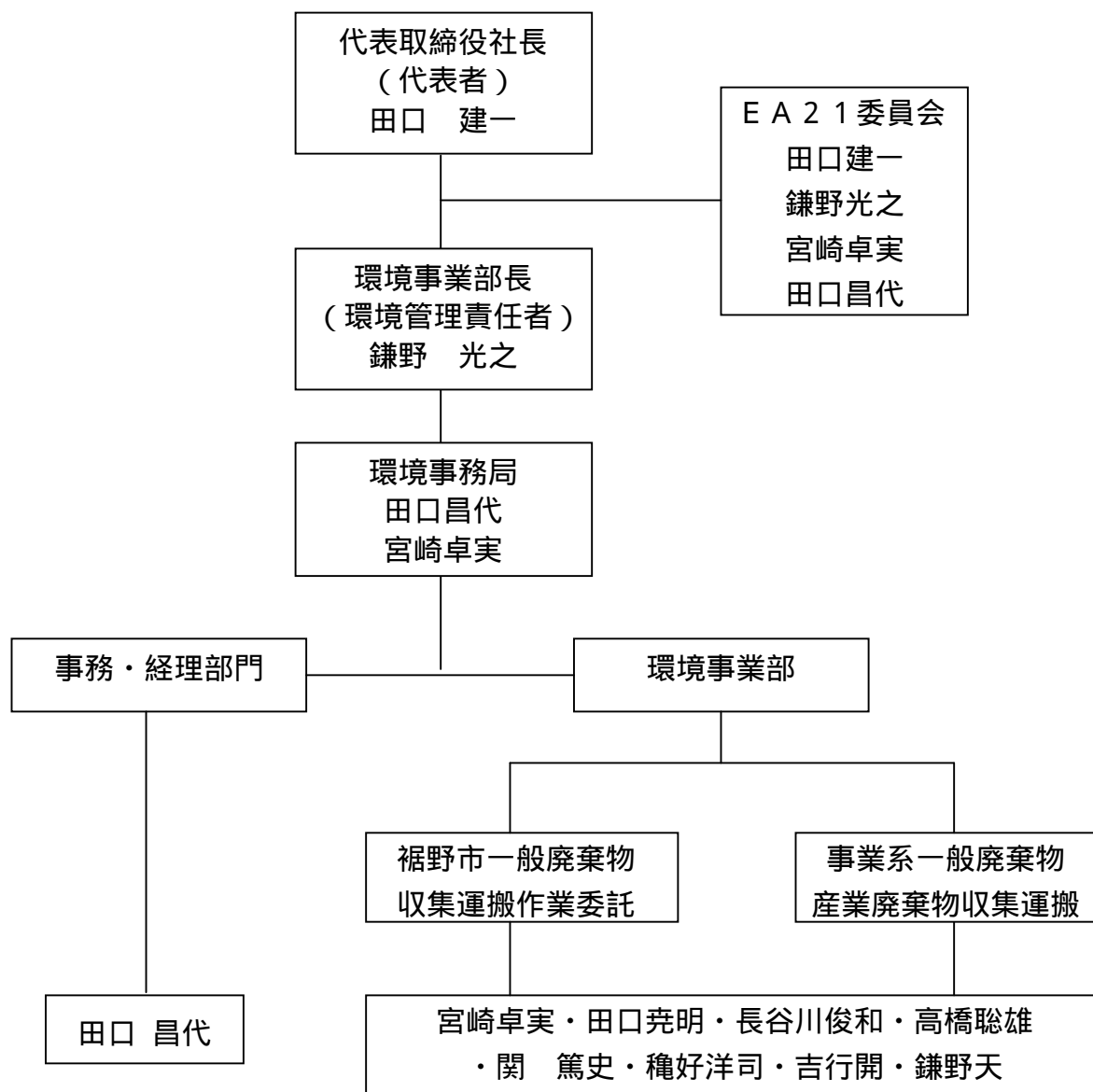
		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
一般廃棄物	白上質紙	8.10	8.08	3.08	5.97	4.84
	新聞紙	1.42	15.64	28.90	34.54	32.9
	ダンボール	32.93	47.10	55.25	58.44	52.9
	その他の紙	14.47	38.23	71.2 5	80.24	51.3
	アルミ	4.54	6.61	11.19	10.60	10.46
	ビン・陶磁器	54.07	56.94	73.63	76.31	51.99
	厨芥ごみ	1259.96	1311.15	1330.68	1440.14	1363.2
	金属くず	73.50	117.95	138.71	137.06	108.37
	古布(8月より)					4.73
産業廃棄物	木くず	3.04	31.82	42.15	39.82	20.40
	がれき類	12.60	8.07	28.41	21.34	13.78
	混合廃棄物	4.80	12.00	19.74	13.47	12.39
特別管理 産業廃棄物	感染性廃棄物	15.71	13.83	14.31	14.12	16.89
	合 計	1485.14	1674.27	1712.69	1932.05	1744.15

【廃棄物処理料金】：処理料金につきましては種類・数量により無料にてお見積りします。

6、廃棄物の流れ



7. 田口建設(株)エコアクション21実施体制



氏名	役職	役割・責任・権限
田口 建一	代表取締役	全体統括、環境方針設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体評価と見直し
鎌野 光之	部 長	全体の把握（環境管理責任者）、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する
宮崎 卓実	EA21 委員会	原則月 1 回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画実行状況を審議する
田口 昌代	環境事務局	EA21 文書及び記録類の作成・維持・管理 電力、水消費量、燃料等の管理
	部門担当者	CO2 削減、排水量削減、資源化率向上、グリーン購入の推奨などを管理する

8、環境負荷の実績

項目	単位	2013年度(基準)		2014年度	
		通年	13年比%	通年	13年比%
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	111756	0	105557	-5.5
購入電力	kWh	10747	0	9521	-11.4
ガソリン使用量	リットル	5124	0	5480	+6.9
灯油使用量	リットル	402	0	364	-9.5
軽油使用量	リットル	30921	0	28589	-7.5
L P G使用量車両用	リットル	7751.1	0	7853.6	+1.3
L P G使用量その他	m ³	137.3	0	153.2	+11.5
総排水量	m ³	286.0	0	248.0	-13.2
廃棄物運搬量	トン	1932.05	0	1744.15	-9.7
資源化量	トン	326.9	0	265.5	-18.8
運搬 1t 当たり Co2 排出量	Kg/t	57.8	0	60.5	+4.7

基準年度を2013年に変更する

9、環境目標

環境目標は2013年度を基準年度とした基準年度比を示す。

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	0	-2%	-4%	-6%	-8%
購入電力	kWh	0	-2%	-3%	-4%	-5%
ガソリン使用量	リットル	0	-2%	-3%	-4%	-5%
灯油使用量	リットル	0	-2%	-3%	-4%	-5%
軽油使用量	リットル	0	-3%	-4%	-5%	-6%
L P G使用量 車両	リットル	0	-2%	-3%	-4%	-5%
L P G使用量 その他	m ³	0	-1%	-2%	-3%	-4%
総排水量	m ³	0	-5%	-7%	-7%	-7%
資源化率(資源量/処分量)	%	13.9%	15%	16%	17%	18%
グリーン購入(文具)	円	実績の把握 ¥36622(80%)	購入金額の 82%以上	購入金額の 86%以上	購入金額の 87%以上	購入金額の 88%以上

東京電力の二酸化炭素換算係数は0.464kg・CO₂(平成23年度)

10、認証・登録の範囲

全組織・全活動・全従業員を対象にしています。

1 1、環境活動計画

二酸化炭素排出量の削減

- ・全車両のエコ・ドライブの周知 [担当者 宮崎 卓実]
 - a. 不必要なアイドリングの禁止
 - b. 急発進・急加速の禁止
 - c. エンジンブレーキの積極使用
 - d. エアコンを控えめに
 - e. 使用計画的な運転(ルート)
 - f. 作業中のエアークンディショナーの OFF
 - g. 早めにシフトアップ
 - h. タイヤの空気圧をチェック
- ・エアコンの設定温度を夏 28 冬 23 に設定 [担当 鎌野 光之]
- ・不要な照明の消灯 [担当 鎌野 光之]
- ・スイッチオフによる待機電力の削減
- ・荷箱容積拡大車、低公害車の購入を検討 [担当 鎌野 光之]
- ・照明の L E D 化

排水量の削減 [担当 宮崎 卓実]

- ・洗濯・洗車時の節水

資源化量の向上 [担当 鎌野 光之]

- ・分別精度を上げ資源量の向上をはかる。
- ・自社排出の一般廃棄物の分別徹底

グリーン購入の推奨 [担当 田口 昌代]

- ・文房具等の新規購入に於いてグリーン購入の実績を把握、購入

1 2、環境目標の実績

基準年度 2 0 1 3 年に変更

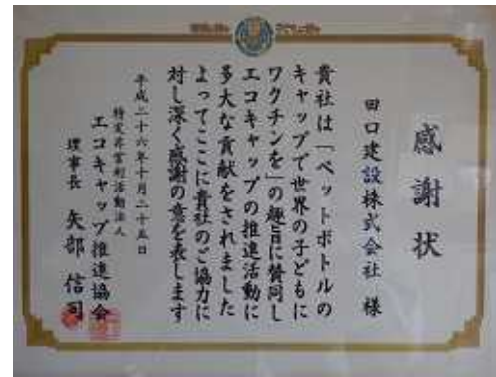
項目	単位	目標値		実績値	評価
		比率	数値	2014 年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	- 2 %	109520	105557	○
購入電力	Kwh	- 2 %	10532	9521	
ガソリン使用量	リットル	- 2 %	5021	5480	×
灯油使用量	リットル	- 2 %	394	364	○
軽油使用量	リットル	- 3 %	29993	28589	○
L P G 使用量 車両	リットル	- 2 %	7597.0	7853.6	×
L P G 使用量 その他	m ³	- 1 %	135.9	153.2	×
総排水量	m ³	- 5 %	271.0	248.0	
資源化率 (資源量/処分量)	%	15.0%	261 t	15.2%	
グリーン購入 (文具)	円	82%	36504/44517	12314/44517 28%	×

13、社会貢献活動

エコキャップ

「みんなのステーション」で回収しているエコキャップは、裾野市商工会女性部を通じてNPO法人エコキャップ推進協会に送られます。

平成26年10月25日エコキャップ推進協会より感謝状を頂きました。



エコキャップ推進協会

アルミ缶リサイクル

平成26年12月19日、アルミ缶リサイクル協会よりアルミ缶リサイクル回収協力者として感謝状と金一封を頂きました。

深良用水展示室への寄付

アルミ缶リサイクル協会より頂いた金一封50,000円はかんがい施設遺産深良用水展示室移転に伴う展示物充実のため寄付した。



アルミ缶リサイクル協会

古布(古着)回収

「みんなのステーション」利用者の利便性向上のため平成26年8月より古布の回収を始めた。回収BOXは廃棄されたガラス温室を再利用した。

売上金の寄付

無人販売所の売上を元に裾野市役所へ、充電式草刈機3台、予備バッテリー3個、1.5坪コンテナハウス(中古)を寄贈した。充電式草刈機は二酸化炭素の排出が無い事と騒音が出ない事で選択した。

平成26年度の寄付金実績は

270,586円である。



古着回収ボックス

1 4、環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組内容 (2014 年度)	評価	2015 年度取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減は順調であるがそろそろ限界にきている。総走行距離・廃棄物運搬量の減少により二酸化炭素排出量は減少しているがガソリン使用量の削減が課題である。	取組の効果が見られたため2015 年度も同様な取組を実施する。 二酸化炭素排出量については運搬 1t 当たりの換算値も明記する。
・全車両のエコ・ドライブの周知	全車両にステッカーを貼付徹底できた。	継続
・エアコンの設定温度を夏 28 冬 23 に設定	スイッチにステッカーをはり、担当者が毎日確認を行った。	継続
・不要な照明の消灯	全社員徹底できた	継続
・LED 照明の導入	順次電灯を LED 化	終了
・スイッチオフによる待機電力の削減	全社員徹底できた	継続
・荷箱容積拡大車購入を検討	車両更新時に実施	継続
・監視カメラソーラー電源化	商用電源の一部廃止	
取組内容 (2014 年度)	評価	2015 年度取組内容
排水量の削減	可能な取組を実施し削減出来た。	継続
・洗濯、洗車時の節水	節水を心がけた。	継続する。
資源化率の向上	全社員が取組を行った。	今後も継続して推進する。
・分別精度の向上	すでに分別を行っているので大きな向上は出来なかった。	継続
グリーン購入の推奨	グリーン商品の購入額の把握を行った。	継続
・文房具等の新規購入に於いてグリーン購入を検討	紙及び筆記用具の購入はエコマーク商品を積極手に購入している。 社名変更に伴うスタンプ等購入が増加したため購入率が低下した。	継続
社会貢献	○ 被災地や地域に還元	継続
・無人販売所を設置し売り上げを地域に還元	○ 被災地や地域に還元	継続
・A E D 搭載	○ 車両更新時に実施	継続

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反がありました。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約（書）の締結	15.03/31
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	15.03/31
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	15.03/31
	マニフェストの保管	5年間	15.03/31
	投棄禁止	不法投棄を行わない	15.03/31
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	15.03/31
	産廃マニフェスト年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	14.06/16 提出
	特管マニフェスト年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	14.06/16 提出
一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		15.03/31
家電リサイクル法	家電リサイクル協会加入	リサイクル券発行	15.03/31
環境基本法	一般的な自主努力		15.03/31
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	15.03/31
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	15.03/31
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	15.03/31
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	15.03/31
消防法	火災の予防	パッカー車の火災予防	15.03/31
道路運送車両法	点検整備・積載量	点検整備・最大積載量遵守	15.03/31
騒音・振動規制法	特定施設設置届		11.02/03
浄化槽法	保守点検の実施	3ヶ月に1度	15.01/30

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

代表者による評価と見直し

2014年度継続してエコアクション21に取り組み、二酸化炭素総排出量・購入電力・灯油・軽油・総排水量は削減できたが、ガソリン・LPGは増加した。

二酸化炭素総排出量は廃棄物運搬量・総走行距離が減少したため化石燃料が減少し5.5%減少した。しかしながら、運搬1t当たりのCO2排出量で見ると57.8から60.5kg/tへ若干増加した。これはガソリンとLPGが増加したことが原因である。

LPGは事務所暖房器具の熱容量をアップしたため増加した。2015年度はガソリン・LPG使用量を削減するよう努力する。

グリーン購入については社名変更に伴う印鑑等の購入品がグリーン購入対象品となっていなかったため低下した。2015年度は再び購入率向上を心がけます。

購入電力が11.4%削減できたのは夏場のエアコン使用を扇風機に変えるなど極力抑えた結果でありこれ以上の削減は厳しいと思う。

廃棄物運搬量は減少したものの古布の回収を始めたため資源化率は目標を達成できた。

「みんなのステーション」の無人販売所と廃棄物事業部の「ご自由にお持ちくださいコーナー」は利用者に好評であり年々利用者が増加している。

無人販売所は1年間で334,700円となったので、これを元に裾野市へ充電式草刈機3台と1.5坪コンテナハウス(中古)を寄贈した。

今後も環境負荷データの可視化により社員のモチベーションを向上出来るようにしたい。

平成27年5月1日

田口ライフサービス株式会社

代表取締役 田口建一